

会議結果のお知らせ

令和7年度第1回宮古市スポーツ推進審議会を、次のとおり開催しました。

令和8年3月5日

宮古市スポーツ推進審議会

1 開催日時

令和8年2月25日（水）午前10時00分～午前11時20分

2 開催場所

宮古市役所5階 5-3会議室

3 議題

【報告事項】

(1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について

【審議事項】

(1) 令和8年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について

【その他】

(1) 部活動の地域展開について

(2) 組織の見直しについて

4 会議の概要

会議資料を事務局から説明。各委員から、意見をいただいた。

詳細は、会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市教育委員会事務局生涯学習課スポーツ振興係

電話 0193-62-2111（内線 3714）

令和7年度第1回宮古市スポーツ推進審議会 開催結果

1 開催日時

令和8年2月25日（水）午前10時00分～午前11時20分

2 場所

宮古役所5階 5-3会議室

3 出席者（5名）

長塚奉司会長、石崎勝正副会長、坂下幸子委員、澤田和嘉子委員、熊谷純委員

4 欠席者（5名）

関口健委員、浜田涼委員、三浦正弘委員、芳賀郁夫委員、磯部隆宏委員

5 事務局出席者（7名）

伊藤晃二教育長、田代明博教育部長、生涯学習課長佐々木雅明、藤澤宏和スポーツ交流推進室長、高山弘二スポーツ振興係長、佐々木毅副主幹、前川健太郎主任

6 傍聴者

なし

7 議事等

【報告事項】 1件について報告

(1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について

【審議事項】 1件について原案のとおり承認

(1) 令和8年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について

【その他】 2件について情報提供

(1) 部活動の地域展開について

(2) 組織の見直しについて

(参考資料) 質疑応答内容質問・意見

質問・意見	回答
<p>【報告 (1) 令和7年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の実績について】</p> <p>(委員) サーモンハーフマラソン大会の周知用のポスターにゲストランナーの紹介を乗せた方が、参加者のモチベーションが上がりPRになるのではないかと。</p> <p>(委員) サーモンハーフマラソン大会のゲストランナーに駒澤大学と女性では初めて東北福祉大学が参加して、沿道にもたくさんの方々が応援して賑わってよかった。</p> <p>(会長) サーモンハーフマラソン大会は来年度40回の記念大会となる。大学トップアスリートと一般市民が走れる魅力が高まっている。</p>	<p>(事務局) ポスターの作成時期が6月頃だが、大学側から正式に出場の回答を頂けるのは8月末から9月となるため、掲載するのが難しい状況である。</p>
<p>【審議 (1) 令和8年度宮古市スポーツ・レクリエーション振興事業の事業計画について】</p> <p>(委員) スナッグゴルフや小学生縄跳び選手権など様々な活動機会を提供頂き、ありがとうございます。参加者の集約について、学校を窓口に行っているが、直接申し込みするように変更できないか。事業の周知については、引き続き協力したい。</p> <p>(会長) 若い方から高齢者まで幅広い年代でスポーツに親しむ機会を設けていただければよい。それから障害者スポーツも広めていただきたい。 市民総合体育大会総合の名称ですが、国や県でも体育大会からスポーツ大会名称</p>	<p>(事務局) 参加者の集約について、各学校にご負担をおかけしており大変申し訳ない。今後の集約については、事業主体の体育協会と相談しながら検討していく。</p> <p>(事務局) 宮古市体育協会の名称が宮古市スポーツ協会に変更となることから、体育と表記していた箇所は、個別の事業の段階で検討していく。</p>

<p>が変わってきているので、変更を検討いただきたい。</p> <p>宮古市体育協会は、4月から宮古市スポーツ協会に名称の変更を予定している。</p> <p>(委員)</p> <p>スポーツ推進委員は現在14名で、担い手がない。行事に参加する人も限られており、問題だと感じている。</p> <p>(委員)</p> <p>スポーツ指導者講習会はこれまで内陸行って受講していたが、市内で受講できることで助かっている。</p> <p>高田式体育教室が当初の内容と近年の内容が変わってきている。当初のような内容にできないか。</p> <p>(委員)</p> <p>中学校の部活動の地域移行に関連して、中学校の部活が廃部となっており、子どもたちがやりたい部活がない。</p> <p>中学校に部活がないため、スポ少などに入っている。そこの指導者の育成、質の向上に努めてほしい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>高田式体育教室は当初は子どもたち200名～300名を対象に行ってきたが、コロナ禍をきっかけに親子50組100名を対象として行っている。</p> <p>コロナ禍前の内容に変更できるか高田道場と相談したい。</p>
<p>【その他 (1) 部活動の地域展開について】</p> <p>(委員)</p> <p>指導者の育成、質の向上について、課題をどのように認識しているか。</p> <p>(委員)</p> <p>小学校の段階から自分で判断して自分がよりよい生活になるように、その土台づくりを小学校の活動の中でやっていきたい。</p> <p>【その他 (2) 組織の見直しについて】</p>	<p>(事務局)</p> <p>これまで実証事業として行っていたが、8年度以降は認定地域クラブとして活動する団体に補助することとなる。この制度を活用しながら指導者の掘起し、育成をして、子どもたちの活動する環境づくりをすることが、今後の方向性であり課題と認識している。</p>